

～市民活動支援センター通信 第52号～

市民活動・ボランティアだより

市民活動支援センターは、平成23年10月に開設以来、市民活動団体の活動拠点として利用していただくほか、市民活動に関する情報提供や啓発に努めています。

この通信は、センターが主催する事業の紹介をはじめとした、様々な市民活動情報を発信しています。



※ 市民活動フェスタ2024 ハンドセラピー体験の様子です。

令和7年8月発行

発行・問い合わせ 所沢市市民活動支援センター

〒359-1111 所沢市緑町3-16-7新所沢コミュニティセンター1F

TEL:04-2968-8391 FAX:04-2968-8392

市民活動に触れてみませんか？

9月21日(日)市民活動フェスタ2025を開催します

お知らせ

多くの方に市民活動を知っていただきたい！ そのような思いから、今年も9月21日(日)に市民活動フェスタ2025を開催します。

市民活動の体験コーナーや展示コーナー、相談コーナーなどの他、今年は小さなお子様も楽しめるよう、**子ども縁日をテーマに、おもちゃの金魚すくいやぶんぶんゴマのコーナーを企画しました。**お友だち同士やご家族の皆様と是非楽しんでいただきたいです。

それ以外にも、**トコロんの大きなぬいぐるみと一緒に写真が撮れるコーナーや喫茶コーナー、アンケート回答者へのポップコーンのプレゼントなど**もあります。

子どもから大人まで楽しめる内容となっていますので、是非お越しください！

～催し物一覧～

<体験コーナー>

- ・初めてのオカリナ教室
- ・ばらの花のリースづくり
- ・ぬりえ・おり紙・手話体験
- ・所沢市郷土大型かるた
- ・ニューススポーツディスコン体験
- ・ハンドセラピー体験

<相談コーナー>

- ・ボランティア・NPO
- ・介護・相続・成年後見
- ・分譲マンション

<ステージ>

- ・落語会
- ・オカリナ・ひょうたん笛・歌のコンサート
- ・歌って、聴いて、音楽を楽しもう！
- ・シニア世代チアダンス

<子ども向けコーナー>

- ・おはなし会・みんなで遊ぼう
- ・金魚すくい・ぶんぶんゴマ

<その他>

- ・パネル展示
- ・果物・野菜販売
- ・喫茶コーナー



市民活動の会計講座～入門編・実践編～ 市民活動支援講座を開催しました

開催報告

7月19日、8月2日に市民活動支援講座を開催しました。

今回は2回シリーズで市民活動の会計講座を開催しました。7月は入門編、8月は実践編で、2回連続で受講いただいた方もいれば、同じ団体で入門編と実践編で別々の人が受講したケースもあり、それぞれの団体の方がご自分の会計実務の経験に応じてご参加いただけたようです。

講師は、あい会計事務所の金子由里子氏。昨年度好評だったため、今年度は2回に分けてじっくり解説いただく講座としました。

入門編では、簿記の経験がないような初心者の方に向けて、借方・貸方など基礎的な説明を中心にちょっとしたワー

クも交えながら講義いただきました。

実践編では、会計の実務経験のある方向けに、活動計算書や貸借対照表を作成する演習を行いました。

2回とも、講義中や休憩時間、さらには終了後の時間も受講者からの質問が出て、1つ1つ丁寧に答えていただき、「ああ、なるほど!」という声が漏れ聞こえるほど、寄り添ってご対応いただきました。

アンケートでは、「説明がわかりやすかった」「練習問題があり、大変わかりやすかった」「また詳しく聞きたいと思いました」「これを機に勉強します」など、様々なご意見をいただきました。



様々な団体が活躍しています！ 登録団体の活動の様子を紹介します

ご紹介

音楽療法カノンの会

× 新所沢団地自治会

市民活動支援センターの登録団体には、単独で活動するだけでなく、団体同士がコラボして活動するケースがあります。今回ご紹介するのは、場所を新所沢団地自治会が提供して、そこで音楽療法カノンの会が「シニアいきいき音楽サロン」の活動をするというコラボのご紹介です。

音楽療法カノンの会は、音楽療法の普及に努め、必要な方にお届けする、というのをコンセプトに、これまでも高齢者施設や支援学級、小児病棟入院中の子どもへの活動など様々行ってきました。

地域の高齢者にも音楽療法を普及し、高齢者の外出の機会となったら…という考えで始まった音楽サロン。場所を変えるなど試行錯誤しながら活動する中で、どうしても活動を継続してほし

いという声が上がリ、自治会に場所を提供してもらって活動をする、という今のスタイルが確立したそうです。

見学した6月下旬は、あいにくの雨でしたが、それでも楽しみにやってきました方が10名ほど集まりました。

まず、各自、ピアノの演奏に合わせて首や腕の運動、耳のマッサージなどをした後、雨や愛をテーマにした歌を一緒に歌いました。後半、ハンドベルやマラカスなどの楽器を1人1つ持って、曲のタイミングに合わせて演奏したり、歌を聞いたりしました。和やかな雰囲気であつという間の時間でした。



特定非営利活動法人

バリアフリー・アートの会 わーくぼけっと

バリアフリー・アートの会 わーくぼけっととは、1999年に障がいの有無にかかわらず、共に生活していける地域づくりをするため設立されました。

今回、見学したわーくぼけっとが運営するドゥークルでは音楽発表会の練習をしており、綺麗な声と演奏を披露していただきました。こうした音楽をはじめとした表現活動を通じて、自分の意見や思いを他者に伝える力を養う取り組みをしています。

この力の育成背景にはドゥークル(琉球語)の意味である「自分でやる」という自立を促す目的があり、そのための支援をしています。

表現活動の一環で
作成したTシャツ→

